

ふるさと教育 取組事例

学校名	江津市立川波小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3年	総合的な 学習の時間	「地域の魅力・地域の名人」	<input type="radio"/> 地域コミュニティセンター <input type="radio"/> てごねっと <input type="radio"/> 江津市
ねらい	川波小学校区3地区（波子・敬川・有福温泉）のひと・もの・こと・歴史について知り、ふるさとへの愛着や誇りを感じる。		

1 取組の概要

- 地域の魅力を探るため、校外学習や地域講師を招いての体験的な学習、身近な名人へのインタビュー活動を行い、興味関心を高める。
- 学んだことや感じた魅力を校区内3地域ごとに新聞にまとめ、地域講師および保護者に向け発信する。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- 地域の魅力、地域の名人への興味関心を高めるため、校外学習や地域講師を招いての体験的な学習、身近な名人へのインタビュー活動を計画的かつ継続的に実施した。
- 自分の住んでいる地域以外への校外学習や地域講師を招いての学習を通して、本校校区全体、また友だちの住んでいる地域の素晴らしさに触れるよう努めた。

（学力育成の視点から）

- 学んだこと（インプットしたこと）を新聞にまとめ、地域講師および保護者に向け発信する（アウトプット）ことで、情報を整理し必要な内容に絞ったり、相手に伝わるよう工夫したりするよう努めた。

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- 自分の住んでいる地域の再発見やその素晴らしさへの気づき
- 本校校区および友だちの住んでいる地域についての発見やその素晴らしさへの気づき
- 地域の方々の思いに触れ、地域の大切さに気づき、誇りとして思う心情の育成

（学力育成の視点から）

- 視点を持った話の聞き方や質問の必要性への気づきと実践力
- 整理した情報を提供することの必要性への気づき
- 自己の持つ情報を発信する際の留意点への気づき

4 課題や今後の展望

- 地域講師の高齢化があり、毎年取り組みたい学習内容に変化をつけていく必要性が見られる。今後、地域コミュニティセンターと連携して、その充実に努めたい。また、地域への愛着を養うためにも、地域で行われる行事に対して、児童の積極的な参加を促せるよう、学校としても協力体制を整えていきたい。

【 波子地域 ～地域の名人に学ぶ～ 】



【 敬川地域 ～体験学習～ 】



【 有福温泉地域 ～地域講師講話～ 】



【 参観日等 ～保護者・地域への発信～ 】

